

おだがいさま

odagaisama

第65号
平成28年
8月1日発行



〈どなたでも自由参加できます〉
 〈他町内の方も歓迎します〉
ラジオ体操会場
 期日 6月1日～7月31日
 9月1日～10月31日
 朝6時30分より(雨天時は中止です)
 新海町町内会
 新海町ラジオ体操愛好会

公演のフェンスに看板を
設置して呼びかけます



「はい、伸びて〜♪」



皆勤賞目指すゾ!

ラジオ体操から広がる健康 つながる心

朝6時30分、新海町公園にラジオ体操の曲が響きわたります。平成22年から町の体育部によってはじめられたラジオ体操には、毎日35~40名の方が公園いっぱい広がって、体操を楽しんでいます。

現在この取組みを推進している新海町ラジオ体操愛好会代表の黒田新治さんは、「はじめたきっかけは、家中新町で行っていたラジオ体操*をウォーキング途中で見かけたこと」と話します。家中新町では、町内の親睦を図ろうと26年も前から毎日型のラジオ体操が続けられています。

「この取組みを新海町でもできないか…」とスタートし、配布したカードに毎日ハンコを押し参加者のやりがいにつなげたり、11月には納会として昼食会で交流を深めています。3年前公園に看板

を設置し広く呼びかけをしたことで、近隣町内会の方も参加するようになり、他地域との交流活動にもつながっています。黒田さんは「朝からみんなと話ができて、顔が見れてうれしい」との声があり、体の健康づくりに始めたことが、今では心の健康づくりにも役立っています」と話してくれました。

一つの町の親睦活動から始まったラジオ体操が、他町へ広がり、心と体の健康づくり、人と人との交流へと発展しています。

※家中新町ラジオ体操は毎年4月中旬から10月にかけて、致道博物館駐車場で雨の日以外は毎日朝6時30分から行われており、特に呼びかけなど行わなくとも自然に人が集まり、今日も続けられています。

新しい鶴岡市地域福祉活動計画を策定しました

「おだがいさまのまちづくり計画2015」

「地域福祉活動計画」は、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。平成23年に策定した「おだがいさまのまちづくり計画2010」の計画期間5年が終了し、新たに「おだがいさまのまちづくり計画2015」を策定しました。策定にあたっては、地域住民の方や福祉活動を行うボランティア、NPO、専門機関等にご協力をいただき、鶴岡市の地域福祉計画「つるおか地域福祉プラン2015」と一体的に策定し、計画を進めていきます。事業推進にあたり皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



＜重点課題とこれからの取り組み＞ 計画期間 平成28年度～平成32年度

【重点課題】

【これからの取組】

【基本理念】おだがいさまのまちづくり

1	地域福祉推進体制の整備と住民主体による見守り・支え合い活動の充実	①広域コミュニティ組織単位の地域福祉推進体制の整備 ②おだがいさまネット活動の推進 ③「(仮称)見守り座談会」の推進 ④地域支え合いプランの作成・進捗管理
2	地域で安心して暮らしている個人・家族への支援と地域包括ケアの促進	①各相談支援窓口などが新たなニーズ把握と行政への働きかけを行いやすいシステムづくり ②介護者や障がい児・者などの当事者や当事者団体への支援の充実 ③地域の課題に応じた新たなサービスや社会資源を開発する支援体制の整備
3	住民に身近で利用しやすい相談支援の充実と地域におけるセーフティネット構築の推進	①ワンストップによる総合的な相談支援機能の強化 ②生活自立支援センターの相談支援機能の拡充と「暮らしのセーフティネット」を構築するプロジェクトの推進 ③コミュニティソーシャルワーク実践のための体制整備・強化
4	地域の福祉活動を進める人材の発掘と育成、福祉意識の啓発	①住民主体の地域福祉活動を担う新たな人材の発掘と育成 ②民生委員・児童委員、主任児童委員活動との連携 ③市内の事業所との地域福祉活動の協働化の促進 ④社会福祉法人の地域貢献活動への支援と協働活動体制の整備
5	ボランティアの養成と、新たな問題に対応する活動の推進	①福祉施設やNPOなどと連携した、人材育成とボランティア活動の支援機能の充実 ②地域のニーズに対応したボランティア活動の促進 ③社会的に孤立している人などへの社会参加の場づくりの促進・拡大 ④災害ボランティアセンター設置・運営に関する事業の充実と、企業、事業所、団体などとのネットワーク構築
6	福祉教育の推進と子ども・若者の社会参加の促進	①ボランティア体験学習プログラムの充実 ②学校における福祉学習の推進 ③社会人などに向けた福祉教育及びボランティア体験学習の推進 ④中学生・高校生などの社会参加と交流の機会や場の提供
7	権利擁護活動の強化と体系的な基盤整備	①「(仮称)つるおか権利擁護センター」の設置の検討など相談支援体制の充実 ②成年後見制度利用支援の拡充 ③虐待防止や虐待防止ネットワーク機能の充実 ④障がい者の差別解消への啓発の推進
8	地域福祉を推進する中核的な組織としての社会福祉協議会の経営基盤・体制の強化	①鶴岡市社会福祉協議会「発展・強化計画」「事業経営計画」の着実な実施 ②新たな資金調達による自主財源の確保 ③社会ニーズに即した研修などによる職員の資質向上と職員による住民活動への支援の拡充 ④苦情対応やリスクマネジメント、サービス評価などのサービス運営管理システムの構築

協議の場

鶴岡市地域福祉活動計画の策定まで

地域調査・課題把握

○策定委員会(4回開催)

委員：住民組織、当事者団体、民生委員・児童委員、福祉関係組織、若者のまちづくりサークル、青年会議所、医師、弁護士、消防団等(24名)

○テーマ別部会(2回開催)

策定委員・ワーキンググループ(職員)が3つのテーマ別部会に分かれて協議

◆テーマ

- ①支え合いのしくみづくり
- ②生活困窮・権利擁護
- ③応援団づくり



住民座談会

○アンケート調査

- ◆単位自治組織の長 対象者数466名
- ◆民生委員・児童委員 対象者数349名
- ◆ひとり親家庭 対象世帯数1,157世帯
- ◆ホームヘルパー(市社協) 対象者数91名

○住民座談会

- ◆町内会・団体等 10カ所
双葉町町内会、大部町町内会、稲生町町内会、新海町町内会、第三学区四団体連絡会議、田川版おだがいさま見守りネット手引き作成プロジェクト委員会、学区・地区社協代表者情報交換会、藤島地区自治振興会、朝日南部自治会連絡協議会、鶴岡青年会議所
- ◆各福祉センター地域支え合いプラン策定事業

平成27年度 事業報告と決算報告

少子・高齢社会の一層の進展などにより地域社会や家庭の様相は大きく変容し、地域連携感の希薄化による住民相互の支え合い機能の低下、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、経済的な困窮など様々な福祉課題が複雑多様化、深刻化してきています。

こうした福祉課題を解決するため、学区・地区社協や自治会、福祉関係団体との協働による地域住民相互の支え合い活動を基本とした地域福祉の推進や、生活困窮者（世帯）への支援、各事業所においては地域の自治組織活動への参加、協力などに取り組みました。

地域福祉事業 地域支え合いプランの策定

地域支え合いプランは、昨年度策定し取り組みをスタートさせている藤島地域に続き、鶴岡地域以外の4地域で地域住民等を対象とした調査活動、策定委員会での議論等をまとめて、各福祉センターエリアの地域支え合いプランを策定しました。

生活支援事業 個別生活課題に関わる相談支援の充実

生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、27年度から市の委託を受けた鶴岡地域生活自立支援センター（くらしす）の運営を通じ、社会的孤立や生活困窮といった制度の狭間にある生活困窮者の自立に向けた個別支援事業に取り組みました。

高齢者福祉事業 介護保険事業の充実

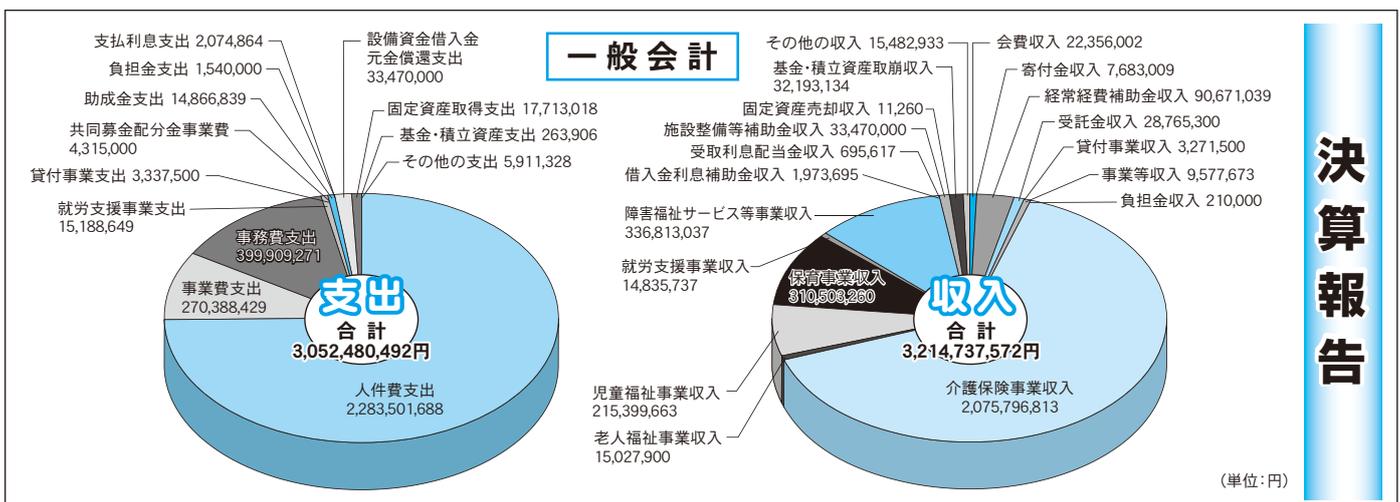
利用者が安定的に安心して利用いただけるようサービス内容を見直すとともに、職員の資質向上を図り利用者一人ひとりのニーズに応えるサービス提供と充実した支援に努めました。また、介護報酬改定によりこれまでにない厳しい経営環境にありましたが、限られた財源の中で個々の事業を一層効率的に推進し、安定的な経営に努めました。

障がい者福祉事業 障がい福祉事業の充実

障がい者が住み慣れた地域で安心した日常生活を送ることができるように、自立支援の視点から個別支援サービスを充実させ、社会参加を積極的に促進するとともに、一人ひとりの利用者の力を引き出すことのできる場面や利用者同士の交流の機会の充実に取り組みました。

児童福祉事業 子ども・子育て支援新制度への対応

子ども・子育て支援新制度への対応を的確に進め、子ども達の健やかな成長を支える生活環境の提供に努め、地域や各世代とのつながりを大事にしながら健全育成を図りました。





町内会などの現状を学生といっしょに探る!!

～法政大学大学院生が鶴岡で情報交換～

6月28日から30日にかけて、法政大学現代福祉学部の宮城孝教授*と学生が市内3か所の町内会や郊外地区を訪れ、それぞれの町内会長や地区社協役員、鶴岡市社協職員とともに鶴岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画に関わる「暮らしのセーフティネットの推進」をテーマとした情報交換会が行われました。

情報交換会では高齢化による各地域の現状や、空き家が生活寮やサロンで活用されている市内の事例などをおききし、また障がい者のグループホーム、支援付きアパートなどにも活用され成果を上げている市外の事例なども話題となるなど、鶴岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進の一助となる有意義な情報交換が行われました。

宮城教授と学生は、情報交換の後、町内会長や地区社協役員の案内で地域内を歩いて回り、空き家の現状や福祉的な地域資源として有効に活用されている状況などを確認しながら、「まずは、必要としている方々を知ること。そして、それぞれの地域の特性や住民の理解を踏まえ、福祉的な視点から様々な組織や業種と繋がることで、地域課題に対する有効活用の可能性が見いだせるかがポイント」と話し、住宅と福祉の連携のあり方とあわせて、地域が担うことができる役割の範囲などについて、町内会長らとともに考える情報交換会となりました。

※鶴岡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定および推進に助言・指導をいただいている



町内会長が地域内を案内!!



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成28年5月3日～平成28年7月11日までのご寄附を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・小山 清敏 様 精米30kg、オムツなど3袋
- ・匿名 100,000円
- ・五十嵐 新一 様 10,000円
- ・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円
- ・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部会 様
タオル各種483枚
- ・鶴岡建設株親善ゴルフ大会 様 100,000円

◎温海福祉センターへ

- ・吉野家 様 100,000円

- ・田川建設労働組合 温海分会 様 10,000円

★東日本大震災の避難者支援事業へ

- ・鶴岡室内合奏団 様 40,000円

★地域福祉センターなえづへ

- ・齋藤 昭子 様 5,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・阿部 達也 様 30,000円
- ・田中 幸雄 様 イオン式空気清浄機1台

★とよら老人デイサービスセンターへ

- ・本間 長右エ門 様 30,000円
- ・三瀬婦人会 様 フェイスタオル 42枚

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- ・イオンリテール株、イオンモール三川店 様
クリーナー1台、ドライヤー1個、他、日用品多数

★もみじが丘へ

- ・温海温泉女性会 様 タオル50枚
- ・温海地域婦人会 様 タオル100枚
- ・ふるさと温海会 様 55,050円

★第四学区学童保育所へ

- ・旧鶴岡市第四学区学童保育所太陽の子運営委員会 様
木製家具（お便りボックス）1台

おだがいさま

第65号
平成28年8月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ♥ふる2階）

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。